

江戸川区マンション 管理組合セミナー

参加者
募集中

大規模震災に備える—その時どうする、その後どうする

大規模地震が発生！そのとき、あなたのマンションは本当に動けますか。

本セミナーでは、震災発生直後の初動対応から、在宅避難の継続、そして建物・資産の再生までを体系的に学びます。被災地の教訓をもとにした、すぐに行える実践的な内容です。「何から始めればよいか分からない」「理事会でどう合意形成すればよいか悩んでいる」方におすすめです。管理組合役員・防災委員・自主防災組織・防災に関心のある住民の皆様の参加をお待ちしています。

<主催>東京都マンション管理士会城東支部 / 江戸川建築設計協同組合 / 江戸川区内マンション協議会
<後援>江戸川区



日時と会場



2026年3月20日 (金・祝)
13:30 ~ 15:40

午後の時間帯を利用して開催される
約2時間のプログラムです。



船堀コミュニティ会館
集会室1

江戸川区内のアクセスしやすい
公共施設が会場です。



先着
40名

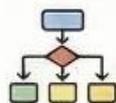


参加申し込み

応募はこちら (QRコード)



スマートフォンから簡単にお申し込みが可能です



プログラム構成



第一部：専門家による講演

「大地震、その時どうする？防災ガイド」
私たちは何を備えればいいのか、わかりやすく説明します。

マンション防災アドバイザー
奥田建蔵

「大地震、その後どうする？失敗しないマンション再生」

マンションが被災した後に管理組合に必要な対応となる復旧工事について説明します。

元福岡大学教授
古賀一八



第二部：公開相談会

講師や専門家に直接相談ができる、
実践的なセッションです。



大地震でマンションが被災した後の復旧工事に関して、確認しておきましょう。アドバイスを受けることができます。

マンション在宅避難 必須備品リスト

自分の安全が確保されていることを前提に、ライフラインが停止した状況で生活をする「在宅避難」に焦点を当て各戸で全体に備えておくべきものを重要な順番で解説します。

【最重要】命を守る3種の神器



① 飲料水
1人1日3Lを目安に、最低3日分、できれば7日分を備蓄しましょう。



② 非常食
火を使わず食べられる物を中心に、3~7日分を用意することが重要です。



③ 災害用トイレ
在宅避難で最も深刻な問題。1人1日5回×7日分が推奨目安です。

「うちのマンションは大丈夫」という認識の再確認



地震発生時に実際に起こる事象を理解し、自分のマンションにおける真のリスクを把握することから始めます。

大規模修繕工事と震災復旧工事の決定的な違い



一般的な修繕とは異なる震災復旧独自の工法や手順を学び、いざという時の備えを固めます。

発災直後からの具体的なアクションプラン



地震が起きたその瞬間から、管理組合としてどのように動くべきか、実効性のある初動対応計画を提示します。

被災マンション復旧のための専門的アドバイス



実際の被災現場を知る講師から、復旧工事に関する具体的な助言を直接受けることができる貴重な機会です。

公開相談会

どうすればいいかわからない悩みやご質問に応じます。どんなことでもご相談ください。

講師プロフィール



古賀 一八 先生
(マンション復旧技術指導の第一人者)

阪神・淡路大震災から熊本地震まで418件の復旧実績を持ち、「震災補修マニュアル」の作成にも携わった技術の権威です。



奥田 建蔵 氏
(マンション防災アドバイザー)

432世帯のマンションで12年間防災活動を実践し、グッドデザイン賞や総務省の防災まちづくり大賞を受賞した住民参加型防災のアドバイザーです。